広報 なすからすやま

No.167

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

2019
8
August

躍動（7月28日　山あげ祭、ぶんぬき）

特集1　山あげ祭……2
特集2　どうなる！市役所……8
消防救助技術県大会で那須烏山消防署が初V…12
スポーツで大活躍……14
まちのわだい……16
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより…20

①

山あげ祭

令和になって最初の「山あげ祭」が7月26日㈮から28日㈰までの3日間にかけて烏山市街地で開催されました。

今年の山あげ祭では、当番町の鍛冶町若衆団を中心に、市をあげて真夏の祭典が繰り広げられ、8万人あまりの観光客が450余年の歴史を誇る伝統芸能を楽しみました。

祭典中は、台風6号の接近が心配されましたが、最終日の朝一番の野外公演が雨で中止となったほか、強風の影響により大山が数回上げられなかったものの、大きなトラブルもなく、全公演を終了しました。

山あげ祭の当番を担う6町の筆頭世話人や自治会代表者、観光協会、市内金融機関などで構成される山あげ祭実行委員会では、今年も、案内所やシャトルバス、桟敷席の運営をはじめ、山あげ祭情報の発信、駐車場や食事処の確保など、おもてなしの充実に向けた様々な企画を実施しました。

今月号では、熱く繰り広げられた3日間の様子を紹介します。

②

④

③

⑥

⑤

⑦

⑧

⑨

⑫

⑪

⑩

①絢爛豪華な野外歌舞伎舞踊（山あげ会館前にて） ②プロジェクション演出では幻想的な舞が… ③活気あふれる若衆 ④鬼女に襟髪をつかまれる ⑤⑬祭りを盛り上げるお囃子 ⑥迫真の演技で魅せる ⑦邪気を払う金棒曳き ⑧無事に山が上がるかを見守る中山の主任 ⑨今年初めて行われたこども歌舞伎舞踊 ⑩華麗な舞を披露する ⑪踊り子が通る花道を支える若衆 ⑫世話人衆が大山の立ち上げを見守る ⑭大迫力の鬼女 ⑮木頭の拍子木を合図に ⑯熱気あふれるぶんぬき

⑮

⑭

⑬

⑯

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

暑い、熱い、3日間

前夜祭の25日㈭には、鍛冶町で「笠揃（かさぞろえ）」といわれる宵祭が行われました。午後5時、鍛冶町会所で「会所開き」が行われ、引き続き会所前で「笠揃式」が行われました。笠揃式では、齊藤篤志筆頭世話人や福田尚博自治会長、三森文徳実行委員長をはじめとした関係者があいさつした後、木頭（きがしら）や各主任の若衆が紹介されました。

笠揃式が終わると、3人の金棒曳（ひ）きを先頭に、屋台が保管されている鍛冶町会所から若衆たちが屋台を引いて練り歩きました。

その後、公演場所へ到着すると、木頭の指揮を合図に若衆たちは素早い動きで山を次々と上げ、午後7時の「笠揃」には、ライトアップされた山の前で烏山山あげ保存会芸能部会により「三番叟（さんばそう）」と今年の主芸題「戻橋」が演じられました。

◇

本番初日となった26日㈮午前6時50分、八雲神社から当番町の鍛冶町により威勢よくみこしが担ぎ出され、鍛冶町地内を一周した後、仲町十文字の御仮殿（おかりや）にみこしを奉還する「出御（しゅつぎょ）」が行われました。

その後、御仮殿前で「天王建（てんのうだて）」が行われ、大勢の人でにぎわいました。それが終わると、他町で奉納余興をする「訪問」が各町会所前などで行われました。他町を訪問する際には、金棒曳きを露払いに世話人衆が先導し、町境にさしかかると、訪問先の町は整列してお出迎え。訪問する側は、相手の町内を借りる旨を口上、受ける側は案内する旨を口上。訪問先町内での移動は、その町の世話人衆が案内します。この訪問は2日間にわたり行われました。

新たな試み続々と・・・

27日㈯には、午前6時から元田町により、「渡御（とぎょ）」が行われました。渡御とは、再来年の当番町が御仮殿からみ

①笠揃で披露された「三番叟」 ②鬼女の演技は大迫力 ③美しい扇の舞 ④波を設置する若衆 ⑤大人顔負けの子どもたちの演技 ⑥鍛冶町による出御 ⑦㉒大屋台を引き次の公演会場へ… ⑧大山の立ち上げの準備 ⑨芸能部会の子どもたちによる開演前の口上 ⑩常磐津の皆さんが太夫座敷で唄や三味線を披露 ⑪特別公演で欄干を支える烏高生 ⑫追っ手に文箱を狙われる ⑬白蛇の精が登場し大立ち回りへ ⑭勢いよく山の絵を運ぶ烏高生 ⑮プロジェクション演出では演目に登場する小百合や雷を山に投影した ⑯御拝と舞台を寄せる若衆。位置決めが肝心 ⑰大山の立ち上げは迫力満点 ⑱本性を見破られ鬼女へと姿を変える ⑲将門の公演に向け「がま」を準備 ⑳日野町により還御のみこしが担がれる ㉑水面に映る鬼女の顔の演出 ㉓千秋楽で披露された「関の扉」

こしを担ぎ出し、6町に屋敷町を含めた7町を巡回するものです。先頭は、触れ太鼓、続いて赤面の天狗と青面のからす天狗、みこしと続いて町を練り歩き、正午までに再びみこしが御仮殿に納められました。

奉納余興では、前日に引き続き他町への訪問が行われたほか、新たな試みとして、烏山山あげ保存会芸能部会の3歳から高校生までの子どもたちによる「こども歌舞伎舞踊」が行われました。これは、毎年浅草で開催される「浅草こども歌舞伎まつり」で上演しているもので、同部会の子どもたちが一生懸命に「将門」を奉納し、観客を沸かせました。

また、この日は、夜の山に映像を映す「プロジェクション演出」が行われました。「戻橋」の公演に合わせ、ライトアップされた山に鬼女の姿や雷雨の様子などが映し出され、満員の観客を幻想的な演出で魅了しました。

◇

最終日の28日(日)は、雨の影響で午前9時30分の「戻橋」の公演の山が上がらず、鍛冶町会館で雨天公演として行われ、予定されていた記念撮影は、午後に延期されました。山あげ会館前の公演では、初の試みとして若衆の指導で烏山高校の生徒約180人が舞台設置から演出・撤去までを手がけた特別公演が行われました。

夕方には、来年の当番町の日野町により御仮殿から八雲神社にみこしを戻す「還御(かんぎょ)」が行われました。

みこしが出発した後は、日野町を除く5町により、お囃子(はやし)のリズムの良さや音の大きさ、力強さを競う「ぶんぬき」が八雲神社前で繰り広げられ、そして、いよいよ山あげ祭最後の行事となる「笠抜」です。「関の扉」、「老松」が披露され、全公演を無事終了しました。

夕方から続く「還御」のみこしは、日野町若衆が八雲通りを何度も練り歩き、午前0時過ぎにお宮入り。3日間の祭りに幕が下りました。

山あげ祭

地域おこし団体などが観光客をおもてなし

山あげ会館前とＪＲ烏山駅前に、「おもてなし広場」が設置されました。

広場では、市内外の飲食店や企業、地域おこしに取り組む団体などにより、ふるさと物産展や飲食物の販売が行われたほか、暑さ対策としてＪＡなす南の提供により冷たい西瓜（すいか）が配布され、訪れた観光客をもてなしました。ふるさと物産展には、本市と交流のある鹿沼市や茨城県常陸大宮市、岐阜県大垣市などの出店ブースも設置され、各地の観光ＰＲが行われました。

ＪＡなす南の提供の西瓜を配布

みこしと屋台にＧＰＳ

山あげ祭実行委員会では、みこしと全町の屋台にＧＰＳを取り付け、山あげ祭まるわかり情報サイトで位置情報を発信しました。

全町の屋台にＧＰＳが取り付けられるのは初めてで、毎年多数の問い合わせがあった屋台やみこしの位置が誰でもリアルタイムで確認でき、好評を博しました。

みこしと屋台に取り付けられたＧＰＳ

特別企画展 鍛冶町の誇り

お揃いなどの展示を見学する来館者

鍛冶町若衆団では、７月19日㈮から山あげ会館で、特別企画展「鍛冶町の誇り～袢天（はんてん）とお揃（そろ）いで見る若衆の歴史～」を開きました。

企画展では、同町の辻敏子さん、園城直次さんが保管していた山あげ祭の袢天とお揃い（絵羽浴衣）など約４０点が並んだほか、昭和初期の「役割表」が展示されました。

鍛冶町の袢天とお揃いは、青色を基調として作られており、様々な絵柄からその時代の様子を見て取れます。展示されたお揃いの中には、約１００年前の大正時代の物もあり、見学者の目を惹きました。

企画展は、８月31日㈯まで開催されています。

嵐山睦会の万灯みこし祭を盛り上げる

威勢の良い掛け声で練り歩く万灯みこし

市内ですっかりお馴染みの嵐山睦会（大金康夫会長）の「万灯みこし」が、７月26日㈮の夜、山あげ祭でにぎわう街中を練り歩き、威勢の良い掛け声で祭を盛り上げました。

百灯あまりのちょうちんで飾り付け、重さ１トンを超すこのみこしは、御仮殿近くの八雲通りを出発し１時間あまりをかけて山あげ会館に到着。集まった観衆から、大きな歓声が沸き起こりました。

山あげ祭フォトコンテスト ベストショットを大募集！

山あげ祭実行委員会では、山あげ祭フォトコンテストを開催しています。入賞作品はポスターやチラシなどに採用されます。奮ってご応募ください。

【応募方法】
・サイズ：４切４切Ｗワイド
・インクジェットプリントは不可
・合成不可
・参加料：無料
・枚数制限無し

■問合 山あげ祭実行委員会（商工観光課内）
☎０２８７－８３－１１１５

とぴっくす

山あげ祭号で烏高生がPR

車内でPRを行う生徒

祭り期間中の27日㈯、28日㈰には、JR東日本により「烏山山あげ祭号」が運行され、約300人の観光客が烏山線で本市を訪れました。

山あげ祭号の車内では、烏山高まちづくり研究会の生徒により、山あげ祭の説明や烏山高校の取り組みなどの車内アナウンス、パンフレットの配布など、本市のPRが行われました。

また、28日にはJR烏山駅前で金井町の大屋台がお出迎え。同駅から山あげ会館まで、観光客が屋台引きを体験しました。

大宮駅で山あげ祭を紹介！

7月15日㈪祝、JR大宮駅で「JR大宮駅観光キャラバン（JR東日本宇都宮運転所、烏山高校、那須烏山市共催）」を行い、山あげ祭をPRしました。

当日は烏高生が中心となり、山あげ祭のパンフレットや「からすやままち歩きマップ」、オリジナル缶バッチの配布を行ったほか、アキュムフォトフレームを使った「からすまる」との撮影会も行われ、人気を集めました。

大宮駅でパンフレットを配布しPR

各種団体がクリーン作戦で観光客を歓迎

祭りを前に7月18日㈭、市と県烏山土木事務所、県建設業協会烏山支部の関係者など約100人により「山あげ祭応援クリーン作戦」が行われました。参加者は、市街地の国道や県道、烏山駅周辺を約1時間かけて清掃し、祭本番に備えました。

◇

27日㈯から29日㈪にかけては、環境美化によるイメージアップを図るため、クリーン作戦が行われました。

クリーン作戦には、烏山高校の生徒約100人をはじめ、栃木県シルバー大学校同窓会那須烏山支部25人、地元企業や地域住民など多くの人々が参加。山あげ会館やJR烏山駅、清水川公園周辺を綺麗に清掃しました。

クリーン作戦で祭り後のまちを綺麗に

山あげ祭期間限定 八雲神社の御朱印が大人気

八雲神社の御朱印が今年初めて手書きに

祭期間中限定で、八雲神社の御朱印が発行されました。

これまで、スタンプでの発行だった八雲神社の御朱印。今年初めて手書きの御朱印となり、御朱印巡りの人々で列ができるほどの人気ぶりでした。

市役所どうなる！

Part2 新築か、それとも既存施設の活用か。

先月号では市役所の現状と課題、そして新たな庁舎の必要性を紹介しましたが、それでは、どのような対策が必要でしょうか。新築か、現在の庁舎の耐震補強工事か、それとも他の既存施設の活用か。今月は、早急に対応が必要とされる市役所の整備方法について考えてみましょう。

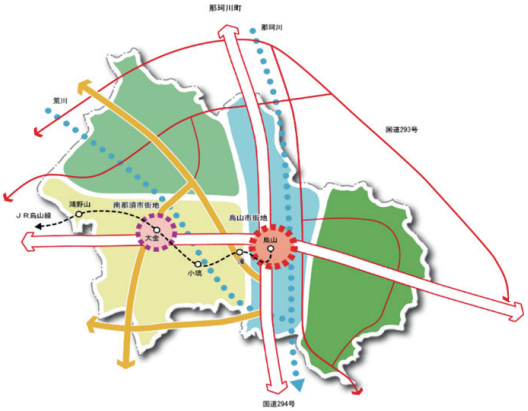
庁舎の耐震補強工事費を試算

先月号に掲載したように、両庁舎とも経年によるコンクリートの中性化や構造上の問題などがあり、耐震補強工事を実施した場合の構造耐震指標Ｉｓ値は、０・75（中レベル）となりました。

現在は、両庁舎とも未耐震の状

平成28年度に実施した庁舎整備計画策定支援業務において、両庁舎の耐震化を図った場合の工事費の試算を行いました（表Ⅰ）。

〈図Ⅰ〉将来都市構造イメージ図
（第２次総合計画基本構想より）



〈表Ⅰ〉庁舎耐震補強工事費の試算結果

	烏山庁舎	南那須庁舎
耐震補強費	６６４０万円	２億２０００万円
内部改修費	１億３７６万千円	２億１６３５万円
外部改修費	２３７８万円	２６４７万円
仮設庁舎費	１億３８００万円	２億７６００万円
消費税（８％）	２６５５万５千円	５９１０万６千円
合　計	３億５８４９万５千円	７億９７９２万６千円

耐震補強工事は、耐震補強費（周辺仕上げ・設備、中性化改修）、内部改修費（壁、天井、照明、空調機器、給排水衛生設備改修工事費）、外部改修費（外壁、屋根防水）、仮設庁舎費（単価４６００万円／５００㎡）、合計で１１億５６４２万１千円となっています。

〈参考Ⅰ〉地方自治法抜粋（地方公共団体の事務所の設定又は変更）

第４条　地方公共団体は、その事務所の位置を定め又はこれを変更しようとするときは、条例でこれを定めなければならない。

２　前項の事務所の位置を定め又はこれを変更するに当たっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。

３　第１項の条例を制定し又は改廃しようとするときは、当該地方公共団体の議会において出席議員の３分の２以上の者の同意がなければならない。

態であり、早期の本庁方式への移行が求められています。

市役所の位置

ここで、市役所の位置について考えてみましょう。市の条例では、市役所の位置を、中央１丁目１番１号と定めています。もし、この位置を変更する場合、地方自治法（参考Ⅰ）によれば、住民の利用に最も便利であるように、交通事情では、主要な道路、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通機関が整備されていることが求められます。

また、国・県の出先機関、警察署などの官公署、その他病院、商業施設、学校などが立地していることを考慮する必要があることとなります。

将来都市構造のイメージ図と各種計画の位置付け

本市の総合計画基本構想では、烏山と南那須の２つの市街地の役割分担を明確にして都市環境を形成していくこととしています（図Ⅰ）。

○都市活動拠点エリア（烏山市街地）

新庁舎などの行政機能を含めた都市拠点機能の誘導や、ＪＲ駅および公共公益施設の集積などを活かし、本市の都市活動全般にわたる中核として機能するエリアとしています。

○都市生活拠点エリア（南那須市街地）

宇都宮地域への近接性、福祉・教育・文化といった公共施設の集積、ＪＲ駅および近隣商業機能などを活かし、定住促進の中核として機能するエリア。公共施設の適正な配置や効率的な土地利用の推進などにより、本市の定住促進拠点としての環境を形成していくこととしています。

市役所の役割、機能および規模

庁舎の基本機能は、「窓口機能」、「議会機能」、「事務機能」、「施設管理機能」に分類できます。庁舎整備基本構想の素案においては、新たに「防災機能」、「市民協働機能」、「複合機能」など、まちづくりの拠点として様々な機能を有した多機能型の庁舎整備の必要性を盛り込んでいます。概算規模は、平成30年４月１日現在の職員数、議員数などを基礎数値に国の基準に準じて試算しました。また、来庁者などの駐車場は、４つの庁舎の駐車場区画数を合算して、分

市役所どうなる！

既存施設の活用と新築の比較

市公共施設等マネジメントシステムにより、既存施設を活用する場合と新築する場合の40年間のライフサイクルコスト（建物を建設してから解体までの費用）を試算しました。なお、既存施設の解消を踏まえた係数を乗じて試算しました。

○基本機能

・窓口機能…窓口業務、ワンストップ※1、相談スペースなど
・議会機能…議場、傍聴席、正副議長室、委員会室、議員控室、議員図書室など
・事務機能…執務スペース、会議室、書庫、倉庫など

○新たな機能

・防災機能…災害対策、危機管理、備蓄倉庫、自家発電など
・市民協働機能…市民交流スペース、多目的スペース、行政情報コーナーなど
・複合機能…利用しやすい、環境共生、行政効率の高い、新たな行政需要に対応など

○新庁舎の概算規模

・庁舎の必要な延床面積
概ね6000㎡
・駐車場約230区画
概ね6000㎡

〈表2〉

【既存施設を活用する場合】

庁舎名称	延床面積	40年間のコスト合計	建設年
現烏山庁舎（本館）	1159㎡	12億8783万円	1961年
現烏山庁舎（本館・増築）	379㎡	3億6868万1千円	1972年
現烏山庁舎（本館・別館）	501㎡	4億5373万4千円	1986年
県庁南那須庁舎（第2別館）	1049㎡	14億4177万1千円	1991年
県庁南那須庁舎（第3別館）	728㎡	8億2163万9千円	1975年
新庁舎（延床面積不足分）	2184㎡	16億7226万9千円	2025年
合　計	6000㎡	60億4592万4千円	

【新築により整備した場合】

庁舎名称	延床面積	40年間のコスト合計	建設年
新那須烏山庁舎	6000㎡	42億9055万3千円	2025年

既存施設を活用する場合	新築により整備した場合	差額
約60億4千万円	約42億9千万円	約17億5千万円

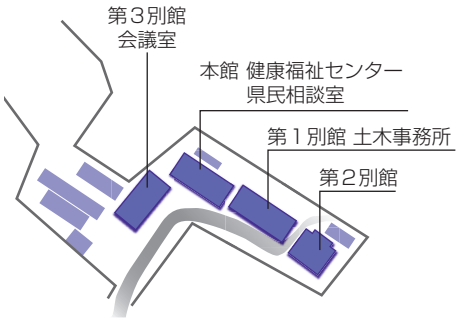
【共通事項】

・建物の更新時期は築後65年経過で新築、**新築の際の建築単価は、50万円／㎡で試算**。なお、新築に伴う附属棟建設工事、付帯施設建設工事、外構工事および測量費用は含んでいない。
・県庁南那須庁舎の第2別館および第3別館を市役所として借用した場合における応接カウンターなどの改修費用などは含んでいない。
・建物更新時における**解体工事は、3万円／㎡**で試算。
・消費税率は8％で試算

【庁舎1㎡あたりの光熱水費の算出】

・既存施設を活用した場合は、市役所烏山庁舎における平成27年度から平成29年度までの光熱水費の平均である2020円／㎡を使用する。
・新築による庁舎整備の場合は、先進自治体の年間の光熱水費を参考に試算した。（A市：人口4万7119人、庁舎の延床面積1万895㎡、鉄筋鉄骨コンクリート造4F、年間の光熱水費は1816円／㎡。　B町：人口1万3634人、庁舎の延床面積8181㎡、鉄骨コンクリート造3F、年間の光熱水費は1322円／㎡。）2つの市町の年間の光熱水費の平均である1569円／㎡を使用する。

【県庁南那須庁舎の位置図】



は、市役所烏山庁舎と県庁南那須庁舎第2別館・第3別館に不足する部分を新築した場合を想定しています。

40年間のライフサイクルコストを比較検討した結果、既存施設を活用した場合は、約60億4千万円の費用を要することとなりました。また、新築により整備した場合は、約42億9千万円の費用を要することとなり、新築により整備した場合は約17億円の経費節減となりました。

◇

今月は、早急な対策が必要とされる庁舎整備のあり方を、新築の場合と既存施設の活用の場合と比較して考えてみました。シリーズ最終回となる来月号では、庁舎整備の位置をどうするか、また、住民説明会日程などについて紹介します。

那須烏山市のまちづくりの拠点となる庁舎整備について、皆さんもぜひ、真剣に考えてみてください。

※1ワンストップ…各種手続きの申し込みから完了までを1か所で済ませることができる行政サービスのこと。

シリーズ

在宅医療のあれこれ Part 16

あなたのまちの接骨院・整骨院「柔道整復師」ができること

柔道整復師（接骨院・整骨院）は、国の定める教育を受け、国家試験に合格して厚生労働大臣の免許を受けた、外傷の施術を行う専門職です。

接骨院・整骨院では、運動器のケガに対する施術に健康保険が利用できます。主に骨折・脱臼・打撲・捻挫・筋肉や腱の挫傷などへの施術を専門としています。（骨折・脱臼は応急処置を除き医師の同意が必要）

柔道整復師が行う「機能訓練」とは？

医師の指導のもと機能の維持・回復を目的とするリハビリテーションと違い、介護保険法においての機能訓練は医師の指示は必要なく、利用者の希望によりケアマネージャーがケアプランに入れることで実施可能です。運動器の機能が低下している、または、低下予防のための機能の維持・減退防止を行う訓練です。介護予防では、単に筋肉強化ではなく、ＡＤＬ（日常生活動作）の改善に重点を置き、より在宅生活を継続できるようにします。

その専門性から柔道整復師は、医療機関や介護保険制度での介護事業所などの幅広い分野でも活動し、きめ細かい健康管理のパートナーとなっています。スポーツの現場では救護はもちろん、トレーナーとして選手のケアも行い、その活動は年間１００回以上になります。また、帝京大学では柔道整復学科の学生とのジョイントシンポジウムを、宇都宮大学では運動部の学生のけが防止とパフォーマンスの向上を目的としたテーピング講習会を開催しています。

柔道整復師が在宅医療でできること

・骨折や打撲・捻挫などで下肢の痛みや機能障害のため歩行が困難になった人
・筋力低下などで転倒しやすくなった人
・脊椎の圧迫骨折や大腿骨の骨折などで入院後、自宅療養している人
・外傷（転んだ・ぶつけた・捻じったなど）によるＡＤＬ・ＩＡＤＬ（手段的日常生活動作）の機能低下

公益社団法人栃木県柔道整復師会の会員は、栃木県内に４００人以上、介護予防・機能訓練指導員柔道整復師講習会を受講し、毎年定期的に資質の向上を行っています。

ご利用に関するお問い合わせなどがございましたら下記までお気軽にご連絡ください。

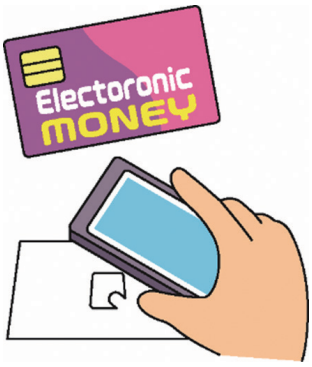
高野接骨院　☎０２８７-８４-１７５７

消費者コラム㉙

消費者ほっと♥らいふナビ

知ってますか？キャッシュレス決済

「キャッシュレス決済」という言葉を耳にすることが多くなり、キャッシュレス決済サービスを使ってみようかなと思っている人も多いのではないでしょうか？



※「消費者庁イラスト集」より

実際に新たなサービスが続々と登場しています。決済手段としては、店舗における決済形態とお金の支払い形態（精算方法）で分類することができます。

まず、店舗における決済形態としては、クレジットカードの代名詞となっている「カード決済（磁気・ＩＣチップ型）」、電子マネーなどの「タッチ決済」、新しく登場した「ＱＲ・バーコード決済」の３種類があります。次に、お金の支払い形態としては、現金や金融機関の預貯金口座などからチャージする「前払い（プリペイド）」、金融機関の預貯金口座からの「即時払い（デビット）」、金融機関の預貯金口座からの「後払い（クレジット）」の３種類があります。

この前提を理解して、自分に合ったキャッシュレス決済を選んだ方がよいかもしれません。「よく分からないけれど使ってみよう」と安易に利用することはおすすめしません。各キャッシュレス決済サービスの決済形態や、支払い形態を理解したうえで、自分に合ったサービスを選択しましょう。そして、収入や預金残高に見合った範囲で節度ある利用を心掛けるようにしましょう。

那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）
【専用電話番号】0287−83−1014
【受付時間】平日9:00〜12:00、13:00〜16:30
※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188（局番なし）」へご相談ください。

消防救助技術大会

那須烏山消防署が県大会初V、全国へ

6月12日㈬、県消防学校で開かれた第45回栃木県消防救助技術大会陸上の部に出場した、那須烏山消防署（川俣寿行署長）チームが、「ほふく救出の部」で初優勝を果たし、全国大会出場を決めました。

大会は、救助技術の高度化と基礎力の鍛錬により救助活動に不可欠な体力、技術力、精神力を養うため、毎年開いているもの。ほふく救出の部は、3人一組で、空気呼吸器を装着した救助員が煙道内から要救助者を救出し、安全な場所まで搬送する訓練で、県内の各消防署から32チームが出場しました。

上／空気呼吸器を装着した救助員が煙道内から救出・搬送する「ほふく救出の部」の訓練
下／右から、1番員の鈴木崇昭さん、2番員の菊池学さん、3番員の小林龍之介さん

同チームのメンバーは、鈴木崇昭さん（1番員）、菊池学さん（2番員）、小林龍之介さん（3番員）の3人。いずれも救急救命士のため業務中にそろって練習する時間がとれず、非番を使って訓練を重ねてきました。3人は、「昨年2位で、今年こそ全国へと思っていた。プレッシャーはあったが、息は合っていた。優勝を決めた時は、感動した。家族や同僚の理解と協力のおかげ」と話していました。

安全管理者として見守ってきた小室隆広さんは、「他県との合同訓練でも好成績だった。全国大会でも、普段の力を出しきれれば上位を狙える」と期待を寄せています。

同チームは、8月25日㈰、岡山市消防教育訓練センターで開かれる第48回全国消防救助技術大会で、各地の予選を勝ち抜いた精鋭チームと技術を競い合います。

赤ちゃんとふれあい 命の尊さを学ぶ

7月8日㈪、9日㈫の両日、烏山中学校で「思春期ふれあい体験教室」が開かれ、同校の3年生126人が赤ちゃんとのふれあいを体験しました。

この体験教室は、思春期の心身の変化や特徴を正しく知り、赤ちゃんと触れ合うことで命の尊さや子育てへの理解を深めようと、毎年市が開いているものです。

当日は、助産師が胎児の成長過程や性感染症について講話し、合わせて妊娠の疑似体験が行われました。その後、生徒たちは、子育て中の母子と交流。赤ちゃんを抱っこしたり、母親から子育ての苦労や喜びをじかに聞いたりして触れ合いました。

参加した安齋宏紀さん（野上）は、「赤ちゃんをあやすのは難しかったけど、とても可愛かった。命の大切さを改めて学ぶことができた。自分もこのような時代があったと思うと、育ててくれた父母に感謝したい」と話していました。

イングリッシュキャンプ 楽しく英語に親しむ

7月6日㈯、南那須公民館で「イングリッシュキャンプ」が開かれ、市内の小学3年生から6年生まで20人の児童が参加しました。子どもたちの英語や外国への興味と関心を高め、共に活動することで友情と信頼を深めようと開いているもの。参加者は、市内のALTの指導で各国の文化を学び、英語のゲームやクイズを楽しみました。

また、アクティビティゲームでは、体を動かしながら英語に親しむ子どもたちの姿が見られました。

烏山小4年の滝田帆香さん（神長）と平野桃香さん（向田）は、「ゲームやクイズが楽しかった。英語は難しいが、これから頑張って勉強したい」と声をそろえていました。

カルチャークイズの様子

思春期ふれあい体験教室

子育てママと意見交換

体験教室に参加した子育て中の母親7人が、7月9日㈫、会場の烏山中で川俣純子市長と意見交換を行いました。市民の声を市政に反映させようと各地区や団体などで行っている集団広聴事業の一環として、昨年に続いて開いたものです。

会場では、市長を囲んで赤ちゃんを抱いた母親が和やかな雰囲気で意見交換。「ベビーカーが使える歩道の整備を」、「子どもが遊べる場所の整備を」、「小児科など医療機関の充実を」といった市政への意見や要望が寄せられました。

市では、これからも各種事業で意見交換の機会を設けます。住みよいまちづくりに生かすために、ご意見をお寄せください。

上／赤ちゃんを抱いてあやす生徒たち
下／川俣市長を囲んで意見交換する母親たち

上下水道施設を社会科見学

水の大切さを実感！

上から、烏山水処理センターで汚水浄化過程を学ぶ七合小児童／城東浄水場のポンプ室を見学する烏山小児童

市内の小学生が、水道水をつくる浄水場や下水を処理する水処理センターを見学し、「命と暮らしを支える水」の大切さを学びました。社会科の授業の一環として行われたもので、6月27日㈭には、烏山小学校の4年生75人が2班に分かれて城東浄水場を訪問。職員の説明を受けながら取水場やポンプ室を興味深げに見学し、「災害の時の対応は？」「職員は24時間働くの？」「ポンプがくみ上げる水の量は？」など職員に問いかけていました。

引率した担任の佐藤雅世教諭は「事前学習して臨みますが、実際に施設を見て、質問することで新しい気付きや驚きがあり、理解を深めたと思う」と話していました。

6月28日㈮には、七合小学校の4年生32人が野上の水処理センターを訪れ、沈殿池や消毒施設などの施設を見学しました。その後、下水が浄化されていく過程の説明を受けたり、顕微鏡で微生物を観察したりしました。

「汚い水がきれいになって出ていくのが良く分かった。微生物の働きが大切だと思うが、顕微鏡で見るとちょっと気持ち悪かった」と見学した大野航賀さん。児童たちは、上下水道施設のほか、大桶の保健衛生センターも見学していきました。

いきいきサロンふれあいの里　交流会

市の「いきいきサロン・ふれあいの里交流会」が、6月17日㈪に南那須公民館で、25日㈫には烏山体育館で開かれ、合わせて229人の高齢者が交流しました。

市内には、高齢者の介護予防や閉じこもり防止のため、「いきいきサロン」40か所、「ふれあいの里」13か所が設けられています。それぞれの地域で、体操やレクリエーションなどの活動をしていますが、他の地域との交流を深めようと毎年開いているのがこの交流会です。

当日は、いきいきサロンサポーターの指導で、オリジナル体操やタオルを使ったレクリエーションに汗を流したほか、全員で合唱を楽しむなど、互いに交流を深めました。

南那須公民館での交流会の様子

スポーツ

空手道マスターズで全国へ

第9回スポーツマスターズ関東地区空手道競技会が、7月14日㈰、埼玉県立武道館（上尾市）で開かれ、個人組手の女子第3部（45歳～49歳）に出場した横枕の生魚英子さんが優勝を果たしました。

子どもが空手を習い始めたのがきっかけで興味を持ち、4年前から練習を始めたという生魚さん。子どもと一緒に週2日～3日の練習をするうちメキメキ腕をあげてきました。

4月の県予選は、昨年に続いて連覇。関東地区から延べ280人のマスターズ選手が形と組手で熱戦を展開した関東地区空手道競技会で念願の優勝を勝ち取り、いよいよ全国大会に出場します。

全国の舞台となる日本マスターズ2019ぎふ清流大会は、9月14日㈯～16日㈪、岐阜市の岐阜メモリアルセンターで開かれ、全日本で活躍したトップアスリートと地域で日々練習を重ねてきた選手が同じ舞台で日本一をかけて戦います。

関東地区大会の個人決勝では、圧勝した生魚さん。全国大会に向けて、「持てる力を発揮して、一つでも勝ち進めるよう頑張りたい」と意欲を語りました。

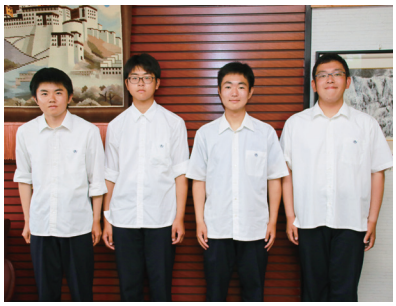
生魚英子さん

インターハイ　アーチェリー　烏山高校出場

6月16日㈰、馬頭高校で開かれた「全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技兼高円宮賜牌第52回全国高等学校アーチェリー大会」の県予選会で、烏山高校アーチェリー部が女子個人と男子団体で優勝し、8月8日㈭から10日㈯にかけて熊本県営八代運動公園で開催されるインターハイへの出場を決めました。

3年の増渕有花さん（大金）は、昨年の女子団体に続いて今年は個人の部で出場。そして、男子団体の部は、3年の土屋幸大さん（向田）、渡邊陽紀さん（さくら市）、2年の堀江風海さん（小倉）、永森隆誠さん（那珂川町）が出場します。

増渕有花さんは、「目標に向かって頑張りたい。今できることをしっかり取り組み、モチベーションを上げてベストを尽くしたい」と、また、団体出場の4人は、「チームはまとまっているので、一丸となって1つでも多く勝ち進みたい。持てる力を出し切りたい」と話していました。



右／増渕有花さん。左／左から、土屋幸大さん、渡邊陽紀さん、堀江風海さん、永森隆誠さん

全国高校レスリング大会に出場

馬頭高レスリング部の高森勇斗さん（中山）が、6月16日㈰に足大附体育館で行われた「第35回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会」県予選会の92キロ級で準優勝し、8月16日㈮から19日㈪にかけて大阪府堺市で開催される全国大会への出場を決めました。

3年連続出場となる高森さんは、「緊張せず、いつもどおりプレーしたい。最近は調子がいいので、このままの状態で大会に臨めるよう調整したい」と話していました。

髙森勇斗さん

スポーツ少年団空手　県メンバーで関東大会3位

7月26日㈮～28日㈰、前橋市で開催された第38回関東ブロックスポーツ少年団空手道交流大会に、白堊（はくあ）会空手道の大輪莉央奈さん（下境）が栃木Bチームの一員として出場し、第3位となりました。大輪さんは、6月の県大会小学6年生女子組手の部で準優勝を果たし、県代表として本大会出場を勝ち取りました。大会前に「団体戦では、下級生の流れを勝利につなげたい。県代表として恥ずかしくない試合をしたい」と語った大輪さん。本県初の総合優勝に貢献しました。

大輪莉央奈さん

上川井鍛冶町　コミュニティ助成事業

上川井自治会と鍛冶町自治会が、今年度のコミュニティ助成事業を活用して備品等を整備しました。

これは、宝くじの社会貢献広報事業で、コミュニティ活動に助成し、地域の発展を進めようと一般財団法人自治総

地域見守り活動 セブンーイレブンと協定

市と㈱セブン-イレブン・ジャパン（永松文彦代表取締役）は、7月24日㈬、市役所で「那須烏山市地域見守り活動に関する協定」を締結しました。

協定は、高齢化社会や単身世帯の増加、小売店の減少などが進む中、相互に連携・協力して支援が必要な人を見守り、安全・安心な地域づくりを進めようというもの。市内のセブンーイレブンは4店舗。それぞれ、店舗での販売やセブンミール配達などで高齢者の見守り活動、振り込め詐欺防止などの高齢者支援、認知症サポーター養成講座などの研修活動への参加促進などに努めることとしています。

締結式で川俣純子市長が「地域見守り体制の強化につながりがありがたい」と期待を寄せると、那須地区ディストリクトマネジャーの若松功さんは、「協定締結はゴールではなくスタート。加盟店と協力し、意識を高めて安全安心な社会づくりに貢献したい」と意気込みを語りました。

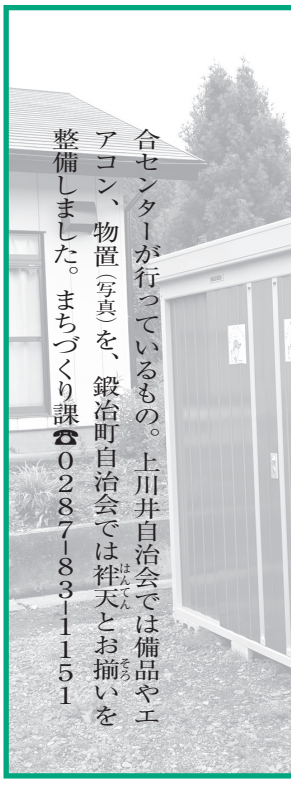
協定締結式での市長と若松さん㈲。

シリーズ 市の文化財 第99回

市指定有形文化財（建造物）
加茂神社本殿及び雨覆（月次）

「鳴井さん」の愛称で親しまれ、5月に梵天奉納が行われる加茂神社の本殿は、安政2年(1855)に建築されました。一間社流造、屋根は木端葺で、随所に施された見事な彫刻は後藤派の作と考えられています。正面向拝柱の虎・梅・竹などの籠彫りをはじめ、いたるところに精緻な細工がなされていましたが、盗難により一部の彫刻は失われてしまいました。

雨覆（社殿などを保護する建物、覆屋とも）は、入母屋・平入りで現在は銅板葺です。木鼻に獅子頭が、中備に蟇股が付いているという雨覆としては類を見ない遺構です。



合センターが行っているもの。上川井自治会では備品やエアコン、物置（写真）を、鍛冶町自治会では祇天とお揃いを整備しました。まちづくり課☎0287-83-1151

シリーズ 公民館講座に行こう！
～実施講座レポート③～

那須烏山市民は歴史が大好き

公民館講座の中で、毎年、安定して人気があるのが歴史に関する講座です。今年も定員を超える申し込みがあり、市民の歴史への関心の高さが伺えます。

日光文学史講座を紹介

観光ボランティアとして活躍する柳原一興さんを講師に、5月から6月にかけて全4回の講座を開催しました。

第1回から第3回までは、江戸期から昭和にかけての文学と地域史に関する座学が中心で、最終回の現地研修では、実際に目にして知識を深めました。

参加者からは、「日光と烏山のつながりが分かった」「自分の知らない日光を勉強できた」などの感想が寄せられました。

【今後の募集講座】

○珈琲研究室（10月）

コーヒーの基礎を学び、こだわりコーヒーを味わいましょう。

日光の養源院跡で説明を聞く。

○刺し子教室（10月～12月）

刺し子の魅力を知り、楽しさを体験しましょう。初心者と経験者に分かれて実施します。

○手打麺とコンニャク作り教室（10月～11月）

そばやうどん、コンニャクを手作りしましょう。

※詳しくは、広報お知らせ版で。

■問合 烏山公民館 ☎0287-83-1412

まちのわだい

「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ　☎0287-83-1112

100万円を寄附 ――山あげ行事の保存継承に――

㈱ムロコーポレーション烏山工場（星孝男工場長）では、7月16日㈫、烏山山あげ保存会（島崎利雄会長）に100万円を寄附しました。

同工場で行われた贈呈式では、「地域に貢献したいという思いを寄附という形にした。世界に認められた山あげ行事の歴史的研究と今後の継承に活かして欲しい」と星工場長。島崎会長は、多額の寄附に感謝し、「貴重な支援を生かし、形に残るように活用したい。そして、山あげ行事の発展と次世代への継承につなげたい」と話していました。

島崎会長に目録を手渡す星工場長㈲

田んぼのあぜ道で生き物を探す親子

田んぼの学校　虫とり大作戦！

田んぼの学校「志鳥倶楽部」（滝口清栄代表）が今年も開校し、7月6日㈯には、志鳥地内の森や水田近くの小道で「田んぼまわり、虫とり大作戦！パート12」が開かれました。

里山と豊かな自然を教材に、遊びながら学びの機会をつくろうと地域の有志によって開かれているこの学校も16年目を迎えます。今年、第2回目となったこの日は、市内外から60人ほどの親子連れが参加。昆虫愛好会の高橋滋会長の説明を聞きながら、田んぼまわりの昆虫採集にチャレンジしました。

参加した子どもたちは、草むらや水辺で昆虫探しに熱中し、珍しい生き物を見つけては歓声を上げていました。また、昆虫に詳しい滝田道明さんの頭の体操「すごいぞ昆虫、ダンゴムシはおもしろい」の話や岡田明さんの「水生昆虫教室」と題したタガメやゲンゴロウ、サワガニなどの展示に目を輝かせていました。

スタッフとして参加している烏山高2年の相吉沢壮永さん（志鳥）は「小学生の頃から田んぼの学校は楽しみだった。そんな里山の自然の魅力を、他の子どもたちに伝えたい。そして、様々な昆虫が生息できる豊かな自然を増やしていければ」と話していました。

今後、7月、8月、11月と続く予定です。詳しくは、広報お知らせ版に掲載します。

涼しげに…

梅雨空に大輪のハス

南大和久の市道沿いの休耕田に大輪のハスの花が咲きこぼれ、道行く人の目を楽しませています。地元の有志3名が、耕作放棄地を何とかしようと始まったのが4年前。湧き水が多く、最初はマコモ栽培に取り組みましたが、利用につながらず、手入れが楽で開花の長いハスを植えたのがきっかけです。以来、7月に入ると、毎年、梅雨空のもとに大輪の花をつけ、すっかり地元の風物詩となっています。

名乗るまでもないから…と控えめな有志の皆さん。「見るのも花を摘むのも自由にどうぞ」と話していました。来年も楽しみです。

ふるさと烏山会総会

ふるさと烏山会（小清水日出夫会長）の総会が、7月14日㈰、東京都千代田区のＫＫＲホテル東京で開かれ、川俣純子市長や沼田邦彦議長等が出席し、市の近況を報告し、会員との交流を深めました。

同会は、旧烏山町出身者が、会員同士の親睦を図り、ふるさとの発展に寄与しようと昭和63年に発足。現在は、69人の会員が活動を続けています。

当日は、旧南那須町出身ゲストを含め会員ら24人が参加。市内で商店を営む佐藤大通さんが「今までのまちづくり－これからのまちづくり」と題して講演しました。その後の交流会では、参加者は、思い出話に花を咲かせ、懐かしいふるさとに思いをはせていました。

ミルクくずもち作りに挑戦する親子連れ

親子料理教室 夏野菜料理を作ろう！

市農村生活研究グループ協議会（村上良子会長）主催の「親子料理教室」が、7月13日㈯、保健福祉センターで開かれ、5組11人の親子連れが、夏野菜料理に挑戦しました。

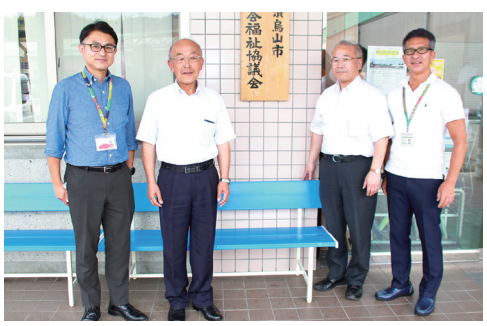
これは、料理を通して地産地消や食育を知ってもらおうと、毎年、同協議会が開いているもの。今年は、家にある材料を使った簡単で美味しい料理「冷やし夏野菜うどん」や「蒸かしたじゃがいものフライ」、「プリン」、「ミルクくずもち」を取り上げ、作り方を伝授しました。

深澤麻希子さん（南1丁目）、にこちゃん、奏志くん親子は、「夏休みに簡単に作れるものがあればと思い参加した。うどんを踏んで鍛えるのは難しかったけれど、初めての体験で楽しかった。家で作りたい」と話していました。

善意でベンチを新設

熊田の岡本豊さんが、保健福祉センターの利用者に使って欲しいと、野外用ベンチ3台を寄贈しました。ベンチは、社会福祉協議会の事務所前に設置され、訪れた人の憩いの場となっています。

岡本さんは、「50年間働いてきて、何か地域に恩返ししたいと思っていた。たまたま、保健福祉センターのベンチが老朽化していたので思いついた。施設利用者の皆さんに使ってもらえれば」と笑顔で話していました。



左から2人目が岡本さん

喜寿を迎えてハッラップレー 東日本生涯野球大会で準Ｖ

6月11日㈫、12日㈬の両日、佐野市長旗第24回東日本生涯野球大会が田沼グリーンスポーツセンターで開催され、「喜寿の部」で本市生涯野球烏山スネークスが準優勝を果たしました。

77歳以上をメンバーとする厳しい規定の中、大会には東日本一円から9チームが参加。スネークスは、青森県代表、福島県代表を次々と破り、順調にコマを進めましたが、ノンプロＯＢなど選手層の厚い神奈川の横浜ファイターズに決勝で惜しくも敗れ、準優勝となりました。

また、個人賞では、同チーム代表の滝田正さんが、投打ともに活躍して敢闘賞を受賞しました。

チームは準優勝、個人は敢闘賞を受賞したスネークス代表の滝田正さん

おめでた

赤ちゃん名（保護者）住所

萩原 尊（淳・環）横枕
岩崎紗捺（雄介・真惟）興野
戸松結希（正行・礼菜）中山
阿久津依緒（大晟・祐子）志鳥
石川 蓮（優範・真宙実）向田
岡田彩生（洋輔・浩子）鴻野山
野村祐天（天叶・柚奈）三箇

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第15回栃木県スポーツ少年団空手道交流大会（6月2日㈰、にしなすの運動公園）

【小学3年男子組手】▽準優勝：荒井斗真（白翌会空手道）【小学3年女子組手】▽第3位：大輪咲奈（白翌会空手道）【小学4年女子組手】▽第3位：小森陽望（白翌会空手道）【小学6年女子組手】▽準優勝：大輪莉央奈（白翌会空手道）

●第14回市長杯剣道大会（6月8日㈯、那須烏山市武道館）

【団体の部】【小学生の部】▽優勝：宏倫剣道スポーツ少年団（土居、滝口、渡邉、沖村、小西）【中学生の部】▽優勝：南那須中学校A（沖村、山口、青柳、相ケ瀬、北側）【個人の部】【初心者の部】▽優勝：小島しおん（烏中）▽準優勝：澤村侑哉（烏中）▽第3位：星美咲（烏中）【小学3・4年の部】▽優勝：土居明夫（宏倫）▽準優勝：新井琢仁（烏山）▽第3位：河和汰來（宏倫）、笠井雄斗（烏山）【小学5・6年の部】▽優勝：渡邉錬（宏倫）▽準優勝：小森咲芽（烏山）▽第3位：小西勇太（宏倫）、沖村昂輝（宏倫）【中学生男子の部】▽優勝：北側雄大（南中）▽準優勝：沖村愛希（南中）▽第3位：相ケ瀬快（南中）、青柳侑晟（南中）【中学生女子の部】▽優勝：菊池優奈（南中）

●第14回那須烏山市春季市民ソフトテニス大会（6月16日㈰、緑地運動公園）

【一般】▽優勝：大野雅幸、澤村祐毅　▽準優勝：青山裕一、笠井修　▽第3位：平野寛和、荒井由裕【シニア】▽優勝：秋元隆夫、斉藤秀夫　▽準優勝：村上佳代、木下光司　▽第3位：青木とみ子・坂主慶子【グランドシニア】▽優勝：今井保二・大崎美佐子　▽準優勝：大山賢一、福島トミ子　▽第3位：森健治郎・漆原義孝

●第38回栃木県ジュニアオープン空手道選手権大会兼第28回栃木県空手道スポーツ少年団交流会（6月16日㈰、日光市大沢体育館アリーナ）

【小学4年男子組手】▽優勝：五十嵐大夢（南那須空手道）▽第3位：寺澤聖心（南那須空手道）【小学5・6年女子組手】▽第3位：大輪莉央奈（白翌会空手道）

●令和元年度ファミリー記念混合ソフトボール大会（6月3日㈪～5日㈬、緑地運動公園）

▽優勝：こぶし台　▽準優勝：藤田　▽第3位：三箇、志鳥

●第9回那須烏山市実年ソフトボール交流大会（6月17日㈪～21日㈮、緑地運動公園、烏山運動公園）

▽優勝：チーム荒川　▽準優勝：TEAM下境・小原沢・横枕　▽第3位：K&K、志鳥・川井連合

●第8回関東少年少女空手道選手権大会（6月30日㈰、栃木県南体育館）

【小学6年女子組手】▽第3位：荒井亜美（白翌会空手道）

ご寄附ありがとうございます

■ふるさと応援寄附金

深谷幸祐様（宇都宮市）から1万円、匿名希望者様13人から計20万4千円が本市に寄附されました。

■社会福祉事業寄附金

山田ぶんぶん&倉沢大樹　母の日のコンサート実行委員会（藤田峰子代表）様から9万801円が寄附されました。

おわびと訂正

7月号12ページで、「瑞宝中綬章」とあるのは、正しくは「瑞宝小綬章」です。おわびし訂正いたします。

編集後記

○今月号は、表紙を開いて、「おっ！」となった人も多かったのではないでしょうか？そうなんです、今月号は全ページがカラー印刷です。今年の山あげ祭は、例年になく晴れていたこともあり、実現することができました！（笑）

○梅雨明けが例年より遅れたことに加え、台風6号の接近も予想され、一時はどうなることかと思いましたが、お祭りが始まると猛暑に。私が作った4日分の「てるてる坊主」が効いたのかも!?と思ったのですが、きっと鍛冶町のみなさんをはじめ、お祭りに関わるみなさんの日頃の行いが良いからですね☺

○今年のお祭りでもシャッターチャンスがそこら中に…若衆さんによる公演の準備や踊り子さんの迫真の演技、みなさんの笑顔の写真など、どれも紙面に載せたい写真ばかりだったのですが、全てを載せられるわけもなく。掲載しきれなかった写真は今後市の公式Facebookなどで公開していけたらと思っているので、ぜひ、チェックしてください!!

Information

新着図書

南那須図書館　☎0287-88-2748　Fax88-0204
烏山図書館　☎0287-82-3062　Fax82-7566
★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『「ひとりで頑張る自分」を休ませる本』　大嶋　信頼
『心。』　稲盛　和夫
『青春１８きっぷで行こう１９～’２０』　ＪＴＢパブリッシング
『リア王症候群（シンドローム）にならない』　齋藤　孝
『はじめてのメルカリの使い方』　桑名　由美
『家康謀殺』　伊東　潤
『亥子ころころ』　西條　奈加
『百の夜は跳ねて』　古市　憲寿
『旧友再会』　重松　清

★児童図書★

『じぶんでよめるきょうりゅうずかん』　成美堂出版編集部
『なぜなに日本語もっと』　関根　健一
『タコのターくんうみをでる』　内田　麟太郎
『きょうからトイレさん』　片平　直樹
『きょうふのしりとり』　武田　美穂
『つるつるプール』　えぐち　よしこ
『生命のれきし』　キャサリン　バー
『エルファと思い出のはこ』　ミシェル　ベル

★DVD★

『僕の妻と結婚してください。』　三宅　喜重監督
『走れ！T校バスケット部』　古澤　健監督
『パパはわるものチャンピオン』　藤村　享平監督
『万引き家族』　是枝　裕和監督
『ボヘミアン・ラプソディ』　ブライアン・シンガー監督

2019.7.1現在
（　）対前月比

人口 25,277(-36)

男	12,539	女	12,738
出生	7	死亡	25
転入	24	転出	42

世帯数 9,343

文芸コーナー

俳句　水野　信一　選

朝刊の湿りて届き額の花
生ひ茂る主亡き家の四葩花　佐藤　亮子（旭）
鉢植ゑの紫陽花見つめ茶をいれる　川俣登志子（旭）
紫陽花に揺れる心の乙女かな　須田　孝子（城東）
　古内　晴代（金井）

川柳　篠﨑　酔月　選

悩んでも眠れなくとも夜は明け　早津　悦子（野上）
丸かじりリンゴ片手に句を捻り　石川　義郎（興野）
あの人が今日は来るかと喫茶店　荻野目香津（中央）
子等の夢膨らんでゆくおもちゃ箱　小堀　翠泉（中央）

短歌　滝口　節子　選

遅れ咲く泰山木の花ひとつ盆に帰りし夫かと思う　須藤　ヤス（志鳥）
風呂の水位低く下げるが慣いなり老いの事故など多く聞くゆえ　鈴木　豊（谷浅見）
水栽培で育てしさつまは「紅あづま」畑に植えていも掘りを待つ　平野フミ子（向田）
川霧の立ちこめる朝の深呼吸心も体も浄化されそう　安藤　伯麗（旭）

作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ（〒321－0692那須烏山市中央1丁目1番1号）あて、郵送で作品をご応募ください。

安楽寺 万灯会（一万灯）
入場無料
日時 2019年 8月24日（土）17:30~20:00
場所 医王山宝生院 安楽寺
駐車場：常時10台（無料）　係員の指示にしたがってください
栃木県那須烏山市田野倉285　☎0287-88-2072
えりのあLIVE
子供縁日

安心な暮らしをサポート！
三井住友海上代理店
（有）しおや保険事務所
◇損害保険：自動車・自賠責・火災・地震・使用者賠責
◇生命保険：新総合収入保障・新医療・八大疫病・年金
◆お問合せ　〒321－0526　那須烏山市田野倉383
TEL：0287－88－9870　FAX：0287－88－0234

シリーズ 烏山高校ってこんなところ! ～生徒会編～

今月号では、烏山高等学校の学校行事の立役者、生徒会を紹介します。役員のみなさんに生徒会に入ったきっかけや、行事の運営で工夫している点など、楽しい行事を支える裏方の仕事についてインタビューしました。

左から澤村さん、桐原さん、手塚さん。

生徒会に入ったきっかけは？

・生徒会長／桐原倫太朗さん(3年):学校に貢献したいと思ったからです。
・副会長／澤村朱桜さん(3年):もともと人のために何かをすることが好きだったからです。
・手塚導徳さん(3年):ただ学校生活を送るのはつまらないと思い、学校の役に立ちたいと思ったし、それを実現できる場が生徒会にあったからです。

8月31日に行われる烏翔祭の準備で今忙しいと思いますが、多くの来場者に来ていただくために、どのような工夫をしていきたいですか。

・桐原さん:生徒会としては、写真映えするスポットを作ろうと計画しています。
・澤村さん:本校のHPを活用したいですね。
・手塚さん:那須烏山市の広報紙に掲載していただくとか。

最後に、烏山高校の生徒会のアピールポイントをお願いします。

・桐原さん:やはり、生徒主体で企画・運営ができるところです。
・澤村さん:役職も関係なく活動できるところです。
・手塚さん:学年、性別関係なく全員が主体となって働いているところです。

8月31日㈯に一般公開される烏翔祭では現在、生徒会が中心となって魅力あるイベントを準備中です。みなさん、ぜひ、お越しください！

那須烏山ジオパーク構想だより㉘
～ジオガイド特集～

今回は、自称「ジオガイドの生き物係」であり、化石や古生物も好きな菅谷しのぶさん(南1丁目)にお話を伺いました。

Qジオパークに興味を持ったきっかけを教えてください。

那須烏山市に来た時から、「こんなに面白いのにみんな気づいていないうえに、活動がバラバラで勿体ない」と、もやもやしていました。しかし、「ジオパークなら全部まとめて市の魅力を内外に発信できるのでは？」と考えたのがきっかけです。

Qジオガイドになりたいと思った理由は何ですか？

化石の自由研究をしている息子の付き添いで、「ジオガイド養成講座」に参加しました。その際に、理系オタクの知的好奇心が全開になりました。

ジオガイドの菅谷さん。

Q那須烏山市のジオパークとしての魅力は何だと思いますか？

崖があり、石ころのように化石が転がっていて、当たり前のようにレッドデータブックに載っているような貴重な生き物がいて、気づかれていない滝がある！それを住民が誰も「変だ」と気づいていないことです(笑)

Qお気に入りの市内ジオサイトとその理由を教えてください。

猿久保田んぼ公園です。里山の豊かな生物多様性を全身で感じることができます。那珂川や荒川沿いの崖は、鷹(たか)などの猛禽(もうきん)類の観察ができます。

編集 那須烏山市総合政策課
〒321-0692
栃木県那須烏山市中央1丁目1番1号
☎0287-83-1112